

## 女性防災士研修会 実施報告

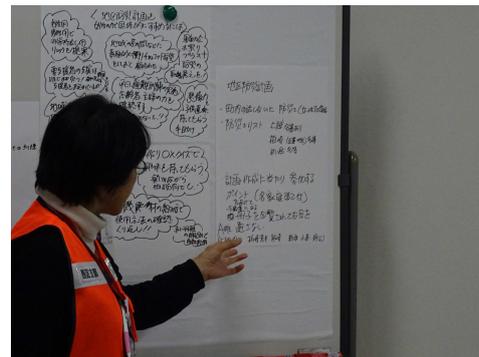
12月22日（日）女性防災士研修会「地区防災計画を考える」を柏崎市で開催しました。

NPO 法人日本防災士会女性推進局委員（北信越地区代表）であり石川県支部副理事長の大月真由美氏を講師としてお招きをして、今春に設立した柏崎市「すてっぷ」と「チーム柏崎」、「上越市防災士会女性部」（H29年度設立）、そして11月に設立したばかりの新潟市「NBJ（新潟防災女子）」の3地域（15名）の女性防災士を対象とした初めての研修会を柏崎市産業文化会館で新潟県支部主催により実施した。

まずは、中越沖地震メモリアル施設の「まちから」を見学。昭和モダンの素敵な建築物（登録有形文化財）であり、震災シアターでは、震災時の様子や「地域コミュニティの絆」が「自主防災」や「復旧・復興」に大きく寄与していることを伝えていた。



研修会では冒頭に、「女性は、コミュニケーション能力が高く、近所の情報や事情にも詳しい。地区防災計画は、女性目線で作成すべき」との大月講師からの助言もあり、積極的な意見交換や情報交換がおこなわれた。



「高齢者・主婦による平日昼間の避難訓練」・「防災さんぽ」・「男女別の非常持出袋」・「運動会・お祭り＋防災」・「子供目線の楽しみながら防災訓練」・「女性による防災機材の確認」等さまざまな意見がありました。早くも次の再会を期待していました。

新潟県支部 事務局長 成川 一正